

# ELPA

イヤホンマイク式集音器

AS-P001

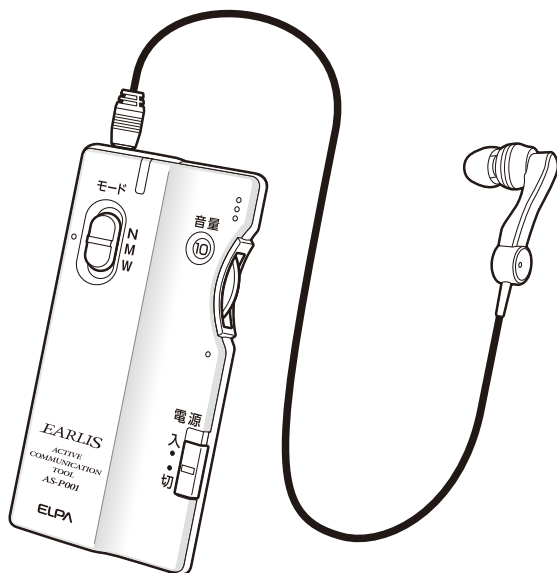
取扱説明書

保証書付

# EARLIS

 イヤリス

アクティブ コミュニケーション ツール



本製品は医療機器ではありません。

- このたびはAS-P001をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- お使いになる前に、この説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

# もくじ



■安全上のご注意	1
■各部の名称	5
本体	5
付属品	6
■ご使用前の準備	7
乾電池の入れ方	7
イヤピースの調整	7
イヤホンマイクの接続	7
■ご使用方法	8
音声モードの設定	10
電話モードの使用方法	10
音量増幅スイッチの設定	11
ネックストラップの取付方法	11
■イヤホンマイクの取扱について	12
■故障かなと思ったら	13
■お手入れ	13
■仕様	14
■保証書	15

# 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。

## ■表示の説明





表 示	表 示 の 意 味
 <b>警告</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

\*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

\*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

## ■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	“  ” は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	“  ” は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに文章などで示します。

# 安全上のご注意 (つづき) お使いになる前に必ずお読みください。

## 警告

### 本体について



#### 分解、改造しない

機器が故障し、やけどや火災の原因になります。



#### 幼児や、ペッドなどに誤って触らせない

やけどや大けが、火災の原因になることがあります。



#### 水をかけたり濡らしたりしない

機器が故障し、火災・感電の原因になります。



#### 乗り物を運転中は使用しない

自転車や、バイク、自動車の運転中は使用しないでください。交通事故の原因になります。

### 電池について

#### 電池は誤った使いかたをしない

- 火中に入れたり、ショートさせたり、分解、加熱しない
- 電池は充電しない
- 指定された種類以外の電池は使わない
- +**と**-**を逆に入れない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
- 使い切った場合や、長期間使用しない場合は、本体から取り出しておく
- 新旧の電池、種類の違う電池を混ぜて使わない
- 液漏れした電池は使わない
- 乳幼児の手の届くところに置かない

**安全上のご注意** (つづき) **お使いになる前に必ずお読みください。**

## **注意**

### 本体について



#### **イヤホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら 使用を中止する**

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。



#### **異常に温度が高くなる場所に置かない**

- ・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- ・夏季の車中や直射日光の当たるところ、暖房器具の近くでは特にご注意ください。



#### **音量を上げすぎない**

この製品は医療機器ではありません。  
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を与えます。



#### **本体をベンジン、シンナーなどで拭かない**

変形、変色の原因になります。

**安全上のご注意** (つづき) **お使いになる前に必ずお読みください。**



## 電池について

**電池の液が漏れた時は素手で液をさわらない。**

- 液が身体や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚に炎症やけがの症状がある時には医師に相談してください。
- 電池内部の液が目に入った時は、こすらずすぐにきれいな水で洗い、ただちに医師に相談してください。

**火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など高温になる場所で使用、保管、放置しない。**

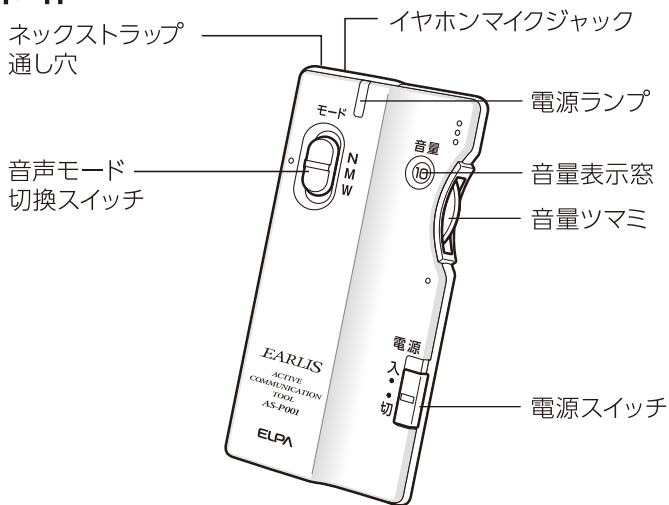
**電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えない。**

**電池の外装フィルムをはがしたり、傷つけたりしない。**

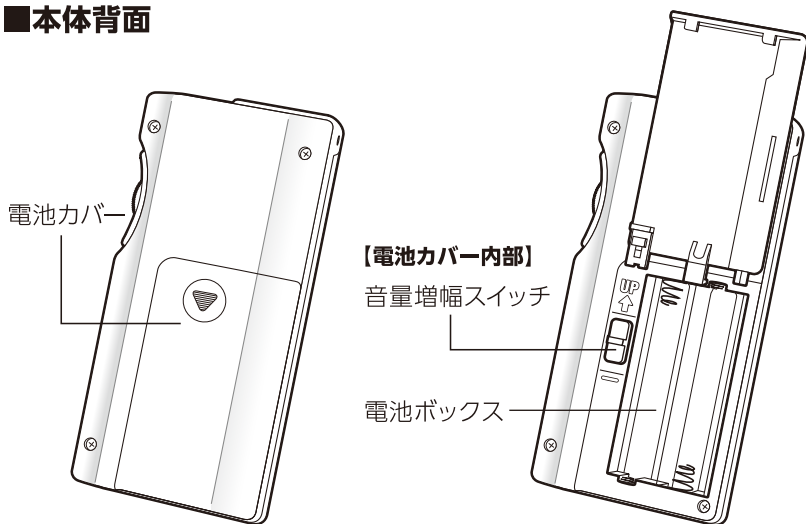
- 電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。

# 各部の名称

## ■本 体



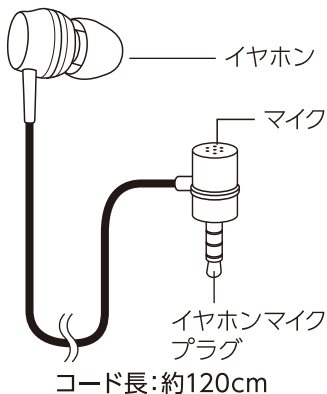
## ■本体背面



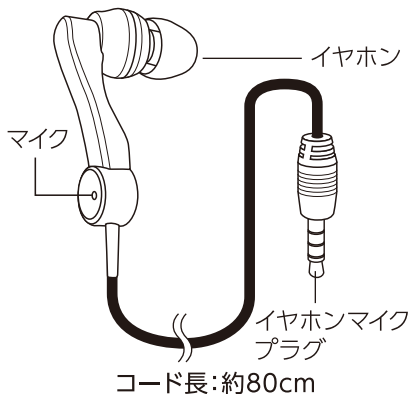
# 各部の名称(つづき)

■**付属品** ご使用前に全て揃っていることをお確かめください。

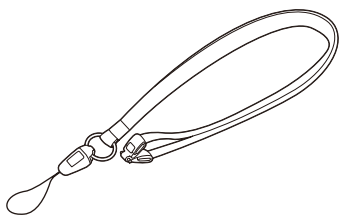
●イヤホンマイク(マイク分離型)



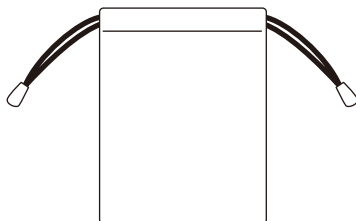
●イヤホンマイク(マイク一体型)



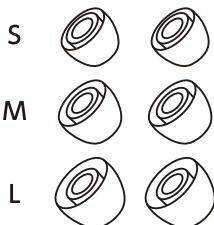
●ネックストラップ



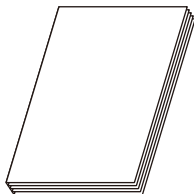
●収納ポーチ



●イヤピース S・M・L 各2個



●取扱説明書・保証書(本書)

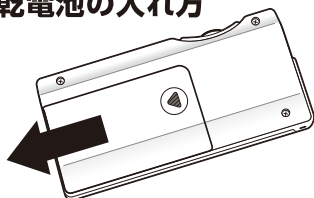


※出荷時はMサイズがイヤホンに装着されています。

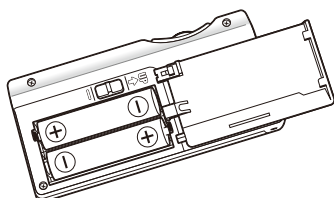


# ご使用前の準備

## ■乾電池の入れ方



① 本体裏側の電池カバーを  
図の方向にスライドさせて  
開けます。



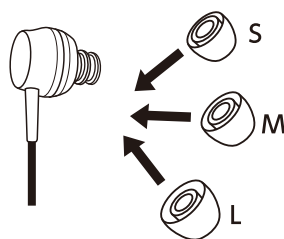
② 単四形乾電池 (別売) を2本 $+$ と $-$   
の向きを本体の表示に従い正しく  
入れ、電池カバーを元に戻します。

## ■イヤピースの調整

本機にはあらかじめ(M)サイズのイヤピースが装着されています。  
サイズが合わない場合は(S)または(L)サイズのイヤピースに交換  
してください。

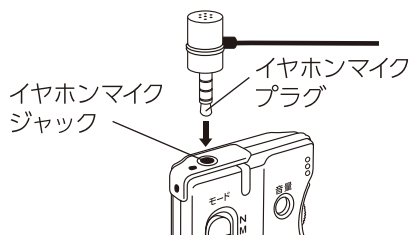
※イヤピースをはずす際は、イヤ  
ピース部分を引っ張ってください。  
装着する際は、奥まで押し込んで  
ください。

※イヤピースが硬くなってしまった  
場合、又はイヤピースを紛失した  
場合は別売のイヤピース [弊社型番:  
RD-EP (BK)] をお買い求めください。



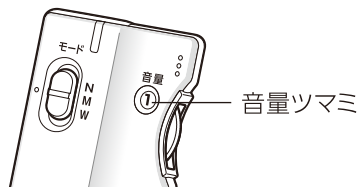
## ■イヤホンマイクの接続

イヤホンマイクのプラグをイヤホンマイク  
ジャックにしっかりと差し込んでください。



# ご使用方法

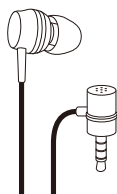
## 1 音量ツマミを”1”に合わせる



## 2 イヤホンマイクを耳につける



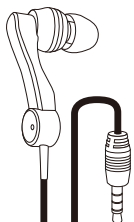
### ■イヤホンマイクの選択について



#### ●イヤホンマイク (分離型)

本体付近にマイクを設置、ボリュームをあげてもピーピー音(ハウリング)の心配がありません。講演会、演劇、テレビなど机の上において音源にマイクを向けるだけで音が聞きやすくなります。

コード長:約120cm



#### ●イヤホンマイク (一体型)

耳の付近にマイクを搭載。耳周辺の音をひろって増幅するので自然に近い聞こえ方を実現。

会議や会話などのときに便利です。本体をポケットに収納して使用する場合はこちらをご使用ください。

コード長:約80cm

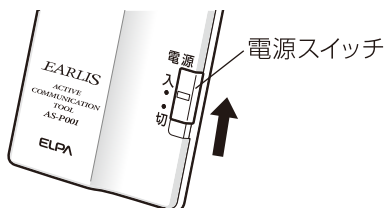
※付属のイヤホン・マイク以外は使用しないでください。

# ご使用方法(つづき)

## 3 電源を入れる

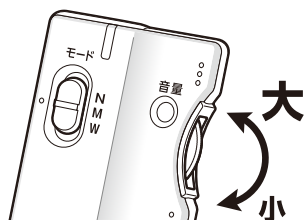
電源スイッチ”入”側に  
スライドさせます。

電源スイッチを”入”にすると  
電源ランプが緑色に点灯します。



## 4 音量を調整する

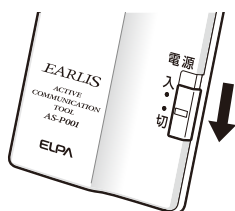
音量ツマミを回して音量を調整する。  
音量は、1～10まで調整できます。



## 5 電源を切る

電源スイッチを”切”側に  
スライドさせます。

電源ランプが消灯します。



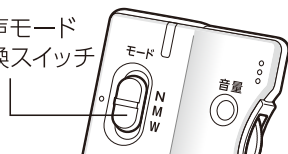
**!** 電源を入れたままにすると電池を消耗します。  
ご使用にならない時は、こまめに電源を切ってください。

# ご使用方法(つづき)

## 音声モードの設定

本機は使用シーンに合わせて、音声モードを変更することができます。

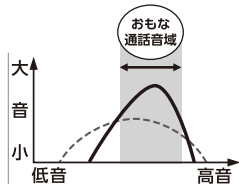
音声モード  
切換スイッチ



■音声モード切換スイッチを  
スライドさせます。

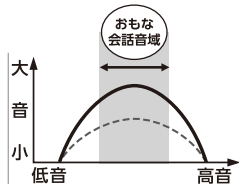
### Nモード

低音ノイズをカットして  
いますので電話の使用  
時におすすめです。



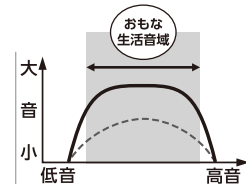
### Mモード

会話や会議での使用に  
おすすめです。



### Wモード

日常生活の中で使用するの  
におすすめです。



【----- 点線:通常の音      ———— 実線:イヤリスの音】

## 電話での使用方法

1 音声モード切換スイッチを  
"N"にする

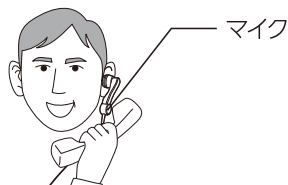


2 受話器をマイクに近づける

電話の音声がよく聞こえる位置へ受話器を動かしてください。

【イヤホンマイク(分離型)の場合】

【イヤホンマイク(一体型)の場合】



※受話器とマイクを近づけすぎるとピーピー音(ハウリング)が発生することがあります。その際はマイクから受話器を少し離してご使用ください。

※電話機側に音量調節機能がある場合は、それぞれの音量にご注意ください。

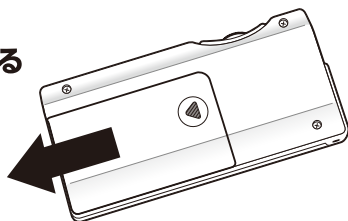
# ご使用方法(つづき)

## 音量増幅スイッチの設定

※このスイッチで音を上げる場合はイヤホンマイク【分離型】を使用してください。

音量を10にしても聞こえにくい場合、音量増幅スイッチをUP側にすることでより聴こえるように設定できます。

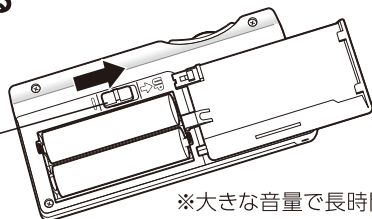
### 1 本体背面の 電池カバーを開ける



### 2 電池ボックス内にある音量増幅スイッチを UP側にスライドさせる

※上にあげると音が  
大きくなる

音量増幅スイッチ



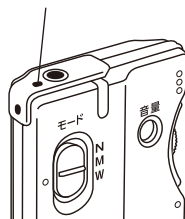
※大きな音量で長時間続けて  
聴くと聴力に悪い影響を  
与えます。音量の上げすぎ  
には、ご注意ください。

## ネックストラップの取付方法

付属のネックストラップを使用すると、本機を首からぶら下げて使用することができます。

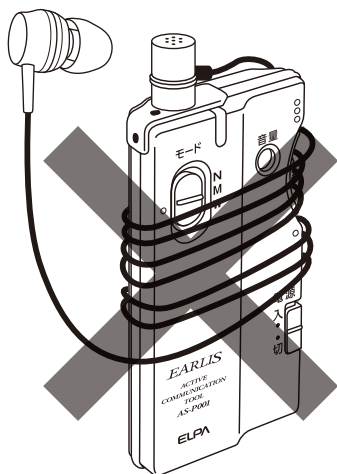
本体のネックストラップ通し穴にストラップのひもを通します。

ネックストラップ  
通し穴

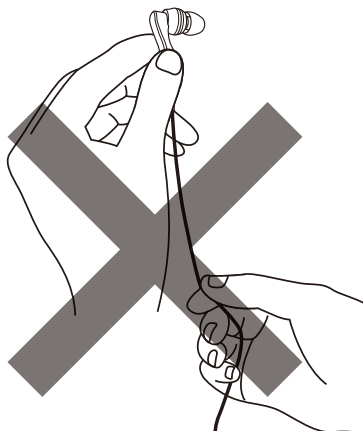


# イヤホンマイクの取扱について

イヤホンを収納する際にコードを本体に巻きつけないでください。



イヤホンを強く引っ張らないでください。



- 耳からイヤホンを外す際は、コードを引っ張らずにイヤホン部を持って外してください。
- イヤーピースが汚れた場合はイヤホンから外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。
- イヤーピースは長期の使用・保存により劣化することがあります。
- イヤホンを使用中、肌に合わないと感じたら直ちに使用を中止してください。
- イヤホンマイクのプラグを抜き差しするときは、コードを引っ張らずに必ずプラグ部を持って抜き差ししてください。
- 汚れは、乾いた布で拭き取ってください。
- イヤーピースを誤って飲み込まないよう、小児の手の届かないところに保管してください。

## 故障かなと思ったら

修理を依頼する前に下記の内容をご確認ください。

故障状況	原因および解決方法
音が出ない	●電池が消耗している ⇒新しい電池と交換してください。
	●電池の向きが正しく入っていない ⇒電池の向きを正しく入れてください。
	●音量が最小になっている ⇒音量を調節してください(P.9参照)
	●イヤホンマイクのコードが接続されていない ⇒奥まで差し込んで、しっかり接続してください。
電池がすぐになくなる	●マンガン電池や充電電池を使用している ⇒アルカリ乾電池を使用してください。
	●電源が入ったままになっている ⇒使用しない時は必ず電源を切ってください。

## お手入れについて

汚れた時は柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどい時は、中性洗剤を含ませた布で拭いてから乾拭きしてください。

※ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

# 仕 様

電源	単四形アルカリ乾電池×2本(別売)
電池寿命	連続使用時 約130時間※
最大音響利得	約35dB
最大音圧レベル	112dB
特性変化	3段階の切替可能(N・M・W)
ユニットインピーダンス	8Ω
イヤホンマイクジャック	φ3.5mm 4極ミニジャック
外形寸法(約)	W45×H92×D14(mm)
質量	約34g(電池、イヤホンマイク除く)
付属品	イヤホンマイク(マイク一体型)×1個 イヤホンマイク(マイク分離型)×1個 ネックストラップ×1個 収納ポーチ×1個 イヤピース(S・M・L)×各2個

※電池寿命は電池の性能、使用状況により大幅に変わる場合があります。